

開講年度	2024		開講学期	春学期						
科目コード	C30114		授業コード	10005						
科目名	アパレル商品の知識			開講曜日・時限	水曜3限 水曜4限					
単位数	2.0		授業形態	実習						
担当教員名【代表】	島崎 千江子 (Chieko Shimazaki)									
担当教員名										
ユニット名	【2024年度入学生】ファッションビジネスAユニット									
先修条件										
C-PLAT	C	○	P	○	L	○	A	○	T	○
授業のねらい	衣服をアパレル商品としてとらえファッションアドバイザーなど売り手側に必要なアパレル商品の知識を実習を通して学びます。また、購入する側（買い手側）にも役立つ衣服の取り扱い方を中心とした内容で生活に生かします。									
授業時間外学習	毎回授業内容を復習し、不明な点を抜き出し調べておき、次回授業での確認を行う。 授業中に課された課題について再考しまとめを行う。 提出された課題について授業時間内またはel-campusからの解説によってフィードバックを行う準備物の確認と用意を行う。									
授業計画										
回	主 題	内容・授業方法・予習および時間・復習および時間・得られる成果など								
1	授業の概要 アパレル商品の現状	授業の目的や内容の詳細について学ぶ (T) 多様なアパレル商品の現状について、歴史から学び今後について考える (A) 予習：シラバス内容を全体的に把握し授業の準備をする：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								
2	布地サンプル作製 アパレル企業について インターンシップの概要	衣服の材料である布地の種類や名称などサンプル作製を通じて学ぶ (A) (C) アパレルメーカーで行っている衣服の製造の過程を学ぶ (A) 衣服販売のプロを目指す現場研修について学ぶ (T) 予習：シラバス内容を全体的に把握し配布プリントを精読する：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								
3	ファッション素材 I 布地の柄やテキスタイルデザインの 実習	ファッション素材の布地の製造方法について学ぶ (A) 衣服の材料であるテキスタイル (布地) の柄やデザインについて学ぶ (A) 予習：配布プリントを精読し、繊維の種類についての知識を確認しておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								
4	ファッション素材 II 種類や特徴 繊維鑑別実験	ファッション商品の素材について学ぶ (A) 素材の種類や特徴について学ぶ (A) 布地の原料である繊維の見分け方を実験で学ぶ (T) 予習：シラバス内容を把握し配布プリントを精読しておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								
5	染色実習 I 染色の基礎 しぼり染めのデザインと実習	布地の染め方について学ぶ (A) 染色に必要な染料や染め方の種類について学ぶ (A) しぼり染めの技法を用いて浸染を実習する (T) 予習：シラバス内容を把握し配布プリントを精読しておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								
6	染色実習 II プリント技術の習得 エコバッグまたはTシャツのデザイン	エコバッグまたはTシャツのデザインを行い作品を作製する (A) 捺染技術について学ぶ (A) 実習作品をプリント布で作製する (A) 予習：シラバス内容を把握し配布プリントを精読しておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								
7	アパレルデザインのしくみについて ファッションスタイリングの方法	衣服のデザインについて種類や要素を学ぶ (A) 衣服のディテールについて学ぶ (A) 予習：シラバス内容を把握し配布プリントを精読しておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間								

8	VMDについて アパレル小売業での商品の見せ方 商品の売り場づくりとディスプレイ	VMDについて学ぶ (A) ショップにおける商品構成とコンセプトについて学ぶ (A) (L) カラー構成によるイメージマップを作成する (A) 予習：実際の店舗における商品表現について理解しておく：1時間、 復習：実験内容を再確認し結果の検討、不明点や質問についてまとめる：1時間
9	商品ディスプレイにおける構成 商品の包装技術 (ラッピング実習)	商品陳列に関する空間構成の知識と技法について学ぶ (A) 商品包装に必要な種類と技法について学び実習する (A) 予習：ラッピングの事例を調べておく：1時間、 復習：作品を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間
10	現役スタイリストによるスタイリング オブジェを使ったファッション商品のコーディネート及びディスプレイ実習	スタイリストの活躍する仕事現場について (A) スタイリストに必要な技術と知識を学ぶ (A) 商品を演出するオブジェを使用し空間構成の知識と技法を学ぶ (A) テーマに沿ったコーディネートをステージで表現する (A) 予習：所持している衣服で該当するもの用意しておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間
11	ファッション商品の装飾 ビーズと刺繍飾り 織物と編み物の知識 織物または編み物の技術	ファッション商品の装飾技法について学ぶ (A) 刺繍やビーズ飾りなどについて基礎を学び作品を作製する (A) 織物について仕組みを学ぶ (A) 編み物の技術を学ぶ (A) 予習：所持している衣服で該当するものをサンプルとして観察する：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間
12	商品企画について学ぶ I 修得した技法で小物を商品企画する	商品企画について仕組みを学ぶ (A) 具体的な企画を行い企画書を作成する (L) 予習：マーケット情報を収集し観察しておく：1時間、 復習：企画書から製作するための材料など準備についてまとめる：1時間
13	商品企画について学ぶ II 企画した小物とカタログを製作する	実際に作品を作成する手順を学ぶ (A) 制作する (A) 完成した作品の写真をカタログにする方法について学ぶ (A) カタログと商品のプレゼンを行う (P) 予習：材料の準備と方法をまとめておく：1時間、 復習：商品とカタログの完成度についてまとめる：1時間
14	しみ抜き概要 正しいしみ抜き法の実験 衣服の表示と保存方法	衣服についたしみの正しい取り方を学ぶ (T) 実際にいろいろなしみを抜く実験で違いを学ぶ (T) 衣服の表示について学ぶ (T) 衣服の保存やトラブルの対応、補修について学ぶ (T) 予習：これまでの経験で該当ことをまとめておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間
15	衣服の汚れと洗濯用品の概要 洗剤などの効果と取り扱い方	衣服の汚れについてその原因を学ぶ (T) 洗濯について洗剤などその作用や効果、正しい使い方を学ぶ (T) 予習：所持している洗剤などの成分を調べておく：1時間、 復習：授業内容を再確認し、不明点や質問についてまとめる：1時間

DP / ナンバリング      ラDP1 / L3F102

授業の到達目標・学習成果	<p>自らの目標を実現するために必要な下記の専門知識・技術を体系的に修得できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の手入れや取扱いに関して、日常生活の中で実践活用する。</li> <li>・職業的専門知識として理解しファッションアドバイザー職に活用する。</li> <li>・習得した技術を用いて衣服に活用する</li> <li>・アパレル商品の企画から販売までの流れが理解できるようになる</li> </ul>
--------------	---

成績評価の対象となる項目・配分

項目	配分	%
実習レポートを評価する	20	%
授業中に指示のあった課題作品を評価する	30	%
期末試験を評価する	50	%
		%
		%
		%

		計 1
		00 %
上記以外の対象となる事項	特になし	
教科書	なし (適宜プリント配布する)	
参考書	なし (必要に応じて紹介)	
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。	
備 考	特になし	